

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市税徴収事業		所管課 【2】	税務課
			評価者(担当者)	渡邊 一正
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり		
	主要施策(節)	(5)行財政運営の効率化		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方税法、市税条例 】			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款 2 項 2 目 2 細目 3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市財政の基盤である市税収入の確保並びに税負担の公平性の観点から、滞納者には、納税相談等において納税意思の啓発を促し、また、厳正な差押執行・公売等での換価により徴収率向上を図っている。しかし、不安定な経済環境等により滞納者の増加が懸念される。
対象(誰、何に対して) 【9】	納税義務者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	安定的な税確保と納税者の利便性拡大を図るため、特別徴収、口座振替勧奨を行い、徴収事務の効率化を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				
	【 年度】                 【 H17 年度から】                 【 年度～ 年度まで】				
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【				
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【				
事務事業の具体的内容 【14】	・新規滞納者へ電話催告等、早めの対応を行っていく。 ・納税相談等の中で、口座振替への勧奨を行う。 ・動産公売の継続実施、不動産公売も行っていく。				
	事務事業を構成する細事業 【15】 <table border="1"> <tr><td>① 滞納整理事業</td></tr> <tr><td>② 納税相談事業</td></tr> <tr><td>③ 日常の税徴収事業</td></tr> <tr><td>④ 各種証明書作成事業</td></tr> <tr><td>⑤</td></tr> </table>	① 滞納整理事業	② 納税相談事業	③ 日常の税徴収事業	④ 各種証明書作成事業
① 滞納整理事業					
② 納税相談事業					
③ 日常の税徴収事業					
④ 各種証明書作成事業					
⑤					

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金	4,717	3,031	3,336	5,032
		起債				
		受益者負担				
		その他	3,005	2,306	2,242	4,120
		一般財源				
	【16】 小計	7,722	5,337	5,578	9,152	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,209	2,227	2,212	2,424	
	職人件費	職員人工数	5.20	5.10	4.90	4.90
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424
【17】 小計	29,172	27,662	26,578	26,578		
合計		36,894	32,999	32,156	35,730	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 滞納整理事業	納付催告、財産・実態調査、差押、公売等滞納処分全般	差押件数	件	1,386	1,301	2,518	1,500
② 納税相談事業	市税滞納者との納税相談(滞納原因把握・納税指導等)	夜間、休日納税相談日数	日	62	63	63	63
③ 日常の税徴収事業	窓口収納、督促状発送	督促状発送件数	件	38,902	36,291	35,030	45,520
④ 各種証明書作成事業	支払い直後等で収納が反映されない期間の納税証明書作成						
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 市税徴収率(現年課税分)	収入済額/課税額	%	98.0	98.0	98.0	98.0
			98.1	98.2	98.6	
2 市税徴収率(滞納繰越分)	収入済額/課税額	%	23.0	23.0	23.0	23.0
			20.1	17.8	26.1	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	高額滞納の納付があり、「達成」と評価しているが、年度により状況等変化する。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	高額滞納の納付があり、「達成」と評価しているが、年度により状況等変化する。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	引き続き口座振替や特別徴収の推進など図る必要がある。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	動産・不動産・債権の差押、換価を行う。また、口座振替の推進、法人の特別徴収の推進を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	新庁舎移転後、会計課と同フロアになったことにより、納期限内納税者に対し会計課及び市金庫への案内がスムーズになった。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	市税徴収事業は基本的業務であり、徴収率の向上は永遠のテーマである。市民に対して税の理解と納税意欲の向上を図り、納期内納付がない納税義務者については、法令に基づく滞納処分を積極的に進め、また、税徴収の効率化を図るための特別徴収及び口座振替の推進といった基本的対策を地道に継続して実施していく。	評価責任者 吉田 東洋
------------------	---	----------------